

八月六日 広島

とうろう流しミュージックセレモニー



日時：2025年8月6日(水) 18:00頃から21:00

場所：原爆ドーム対岸、平和公園護岸

音楽奉獻者

福原一閑(横笛・能管)、三宅珠穂(即興演奏)、小林義男(シンセサイザー)、伊藤紀江(クラリネット)、
野村彰浩(キーボード)、タケウチフミノ(二胡・アイリッシュフィドル)、福田ひとみ(サクソフォーン)、

草奏リィラ(キーボード・ボイス)、柳記彌栄(筝・十七弦)、KOTOユニット・シャシャテン(筝・十七弦)

主催：特定非営利活動法人セトラひろしま 協力：とうろう流し実行委員会

80 years since the atomic bombing

August 6, Hiroshima

Hiroshima Lantern Floating Music Ceremony (6 to 9 pm)

Venue: Motoyasu River (riverbank area facing the Atomic Bomb Dome)

Performers

Ikkan FUKUHARA/ Shinobue(Japanese Transverse Bamboo Flute) ,

Tamaho MIYAKE/ Improvisation, Yoshio KOBAYASHI/ Synthesizer, Norie ITO/ Clarinet,

Akihiro NOMURA/ Keyboard, Fumino TAKEUCHI/ Erhu, Fiddle, Hitomi FUKUDA /Saxophone, Leela HANAKI/ keyboard,voice

Kimie SAKAKI/ Koto(Japanese Zither), Koto Unit "Syasyaten"/Koto(Japanese Zither)

Organized by: NPO Cetra Hiroshima

流れ
とうろうに
音楽を奉獻



ひろしま国際平和文化祭コラボイベント

Live Streaming

ライブ配信 URL

テクニカルサポート：竹友秀彦



小林 義男

<YOSHIO KOBAYASHI / シンセサイザー>
アナログ&デジタル・シンセ・ギター・シンセ、ルーバーを駆使し、プログレッシブかつアンビエントなサウンドを構築。Led Zeppelin、Pink Floyd、宮田勲に影響を受け、学生時に小西健司、宇都宮泰らに音楽を学ぶ。広島にてゲーム制作会社、専門学校非常勤講師勤務の後、現在はソロ活動ほかに即興ユニット、民族音楽ユニットに参加。DAN ヴィッスンやレコーディングも手がける。瀬戸内海・大崎上島出身。

福田 ひとみ

<Hitomi FUKUDA / サクソフォーン>
広島県出身。12歳より吹奏楽部でサクソフォンを始める。広島市立基町高等学校を経てエリザベト音楽大学演奏学科に特待生入学。大学在学中、ザビエル奨学賞、学長表彰を受ける。2010年フランス、ボティエで行われた、ハバネラ・サクソフォンアカデミーに参加。第24回レ・スプレンデル音楽コンクール審査員賞を受賞。第14回万里の長城杯国際音楽コンクール管弦楽部門 大学の部 第1位。第18回KORE 国際音楽コンクール木管楽器部門 優勝賞を受賞。2017年3月、音楽家の野村彰浩氏とサクソフォンピキーボードによるエレクトロニカ・デュオユニット「LaTICA」を結成する。広島を拠点に全国各地のライブハウス、レストラン、その他様々なシーンで活動を重ね、代表作「CORDELIA」をはじめ多数アルバムをリリース。これまでに、Fabrice Moretti、Lars Mlekusch、各氏の公開レッスンを受講。サクソフォンを宮田麻美、宗貞啓二、鈴木浩二、原博巳の各氏に師事。

福原 一間

<Ikkan FUKUHARA / 箫笛・能管>
篠笛を故六代目 福原百之助こと寅山左衛門に、棒太鼓、小鼓を藤谷円秀に師事。邦楽からジャズまで様々な演奏家との共演を通じ篠笛の可能性を探求中。2003年放送文化基金賞 特別賞受賞。2008年6月議長会議懇親会にて演奏。2015年ブラジル、イビウーナ他3か所にて和太鼓奏者今福優氏と共に、戯島神社高舞台にて連眉奉納演奏、2016年6月外相会合(於宮島岩惣)にて演奏。宮島観光大使。



KOTO ユニット・シャシャテン

<Koto Unit "Syasyaten" / 等・十七弦>
辯記強栄の指導のもとに結成された等演奏集団。NEWスタイルの演奏を目指す。2017年けんみん文化祭ひろしま「17邦楽部門」銀優秀賞受賞、2018年より大いノコ祭りで演奏、第33回国民文化祭・おおいた2018・邦楽部門出演。*メンバー：草川啓介(2023年沢井華曲院教師取得)、東原由貴(2023年沢井華曲院教師取得)、辯ことね(2023年沢井華曲院教師取得)



Hiroshima Lantern Floating Music Ceremony (6 to 9 pm)

2025 とうろう流しゾリストン《音楽奉獻団》

セレモニーの趣旨に賛同しジャンルを超えて集まった音楽家たち、流れるとうろうに向かって演奏を手向祚ます。

それぞれ独自の表現をするとともに、コラボレーションによってなる音楽空間を創造します。

流れるとうろうとの内的な交感の内に演奏を繋ぎ、多様な音楽の共存のうちに心に響くような音楽をとうろう流しの光景に重ねます。

三宅 珠穂

<Tamaho MIYAKE / 即興演奏>
全員即興セッションパート。concept creation及び指揮～作曲家、即興演奏家。相愛音楽大学作曲専攻卒業。同専攻科修了。神戸大学大学院修士課程人間発達環境学研究科表現系修了。作曲を松村恵三、山田光生、安田順子、クラース・デ・ヴィリーズの各氏に師事。深新会閑西同人。作曲作品はインドネシア、ショグジャカルタ現代音楽祭、イタリア・トリノのI.C.O.H.S.国際作曲コンクール等で受賞している。即興演奏活動では、ピアノ、テルミン、ヴェトナム琴等様々な楽器を使い、これまで、和楽器を含む様々な楽器の演奏家、書道家、ダンサーなどと共に。ファンションショーや無声映画の音楽など&GMも手がける。クラリネットチェロのための「THO OR MORE」をマザーアースより出版。
<http://www.hi-ho.ne.jp/tamaho>



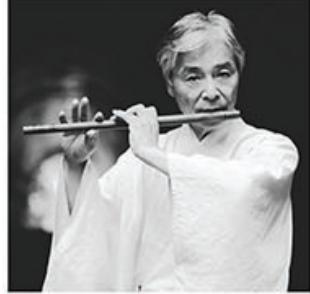
タケウチ フミノ

<Fumino TAKEUCHI / 二胡・フィードル>
広島出身。エリザベト音楽大学でクラシックを学んだ後、民族音楽と出会い、バット・オコナーにアイリッシュフィドルを、また北京音楽学院にて二胡を習う。2014年、フランス・パリの夏至音楽祭へ出演、また2015年より宮島での演奏活動実績から、宮島観光大使をつとめる。現在、中国地方を中心に県内外にて。民族音楽やオリジナルを軸とした演奏活動の幅を広げると共に、自らの教室を主宰、広島市内、五日市、西条等幅広くレッスン指導を行っている。

野村 彰浩

<Akihiko NOMURA / キーボード>

1975年広島生まれ。6歳でピアノをはじめ15歳で渡英。Don Rendell氏に師事。17歳の時Guildhall music主催のコンテストにてベストピアニストに選ばれ、The StableやJazzcafe等英国を代表するジャズクラブに出演し脚光を浴びる。10年間におよぶ英国滞在後、2000年に帰国。以後広島を拠点に活動。また多数のアーティストプロデュース、楽曲提供やアレンジを行い、他ジャンルのアーティストとのコラボも多く行う。美術館、映画館、レストラン等の他様々なシーンで活躍する「平和」を願うキーボーディスト&サウンドクリエーター。



辯 記彌栄

<Kimie SAKAKI / 等・十七弦>

等・十七弦琴奏者。古典邦楽の中にとどまらず、ジャンルにとらわれない自由なスタイルでライブ及びコンサート活動を国内外で精力的に行っている。ロシア、アメリカ、リトアニア、オーストリア等で、数多くの国際音楽祭に参加し、世界の様々なアーティストとのコラボレーションを通じマルチで多彩な「音・空間」を追求している。またコンサート活動とともに、最近では音楽・イベントプロデューサーとしても活躍している。

沢井華曲院教授、辯記彌栄 OKOTO 教室主宰、アリスガーデンパフォーマンス広場事業 AH! プロデューサー。



伊藤 紀江

<Norie ITO / クラリネット>

オランダ王立デン・ハーグ音楽院卒業。これまでに森田利明、アブ・フォスの各氏に師事。在籍中、各地にて室内楽、オーケストラで新曲初演を含む数々の演奏会に出演する。現在は2度のソロリサイタルをはじめ、近年は丁、ブームスが造ったクラリネットの為の室内楽曲(三、五重奏曲、2つのソナタ)を半年の間に開いた2回の演奏会で全て演奏するなど、室内楽やその他オーケストラ

